

好生館 だより

KOSEIKAN
DAYORI

2023.1

Vol.
57



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL 0952-24-2171 (代表) FAX 0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp>



写真: 令和4年度医療連携講演会

CONTENTS

[メッセージ]	
理事長あいさつ／館長あいさつ	1
[診療科の紹介]	
病理診断科／産婦人科	2
周産期母子センターの紹介／薬剤部だより／	
新任医師の紹介	3
看護部だより	4

[好生館ニュース]	
災害訓練を実施しました 他／	
好生館シンポジウム開催のお知らせ	5
登録医療機関のご紹介 (ふじおか病院, 和田医院)／	
事務部:計画推進室だより	6
外来医師一覧表	7



理事長 榑木 等

理事長あいさつ

COVID-19と共存した平時の医療提供体制へ

新年のお慶びを申し上げます。平素より好生館をご支援ご指導いただき感謝申し上げます。

昨年はCOVID-19ウイルス感染症に翻弄された1年間でした。年末は第8波を思わせる感染の勢いとインフルエンザ感染症の可能性を危惧する状況で、国は社会経済活動の活発化に向けて感染危機管理に対して都道府県の判断、対応を尊重しているように見えます。

我々も行政の指示や方針を咀嚼して身の丈にあった方策を講じる段階と考えます。平時の決め事の朝令暮改は好ましくありませんが、有事や非常時には合理的に適時改訂が必要です。病院の姿勢は標準的な感染対策の遵守が原則です。

今春は中期計画令和4年度の期末の位置づけです。COVID-19ウイルス感染症に対する医療は継続しながら、好生館本来の平時の医療提供に一層力を注いでまいります。

次年度の臨床研修医マッチングの中間結果報告がありました。好生館プログラムは12人すべて充足し、佐賀大学とのタスキ掛けマッチングは1年目6人、2年目3人で例年同様の結果でした。好生館に対する評価と期待を受けたものと身の引き締まる思いです。新年度に向けては教育研修体制のさらなる充実を目指します。

若い力の活躍と経験者の知恵のバランスが好事例を生み出すような人材育成の組織づくりが大切です。全ての医療職の安全安心な医療提供が最終目標です。

新年が皆様にとりまして幸多い年でありますように祈念いたします。

館長あいさつ

災害レジリエンス

師走になり連日数百名の陽性数(県内)が報告される現在、院内はすでに感染対策遵守が浸透し、平常通りの診療となっています。学会も現地開催が増加し、当館からは医療マネジメント学会、全国自治体病院学会をはじめ各部署、各診療科から数多くの演題が発表され、学術活動も平常化しました。とはいえ感染症対応病棟では入院が増え続け、心身にのしかかる疲弊やストレスは絶えません。担当職員に感謝しますとともに、国が感染症診療に対する舵を大きく切ってくれることを願うばかりです。

野球、ゴルフ、サッカーなどスポーツ面での大活躍に沸いた2022年でしたが、何と言ってもウクライナ侵攻が衝撃でした。同国では医療施設への攻撃が700件を超えており、医療機能低下が懸念されます。話題のランサムウェア同様、災害はいつ訪れるかわかりません。昨年10月には当館でも災害訓練、原子力防災訓練の2つの実動訓練を挙行了しました。被害によるダメージからできるだけ早く機能回復できるよう、災害に対するレジリエンスをさらに強化していく所存です。今後ともご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。



館長 佐藤 清治

病理診断科

病理診断科からのご紹介

当科では病理専門医2名と臨床検査技師5名で病理業務全般を行っています。

病理組織検査、細胞診検査、病理解剖を3本柱に迅速で正確な診断を心がけています。病院の性格上、様々な臓器の病理検体が提出されます。病理医2名のダブルチェックを行い、必要があれば外部の専門病理医にコンサルトを行っています。

検査件数はコロナ禍で過去2年間は15%程減少しましたが、最近はコロナ禍以前に回復してきています。しかし病理解剖は全国的にも減少傾向にあります。

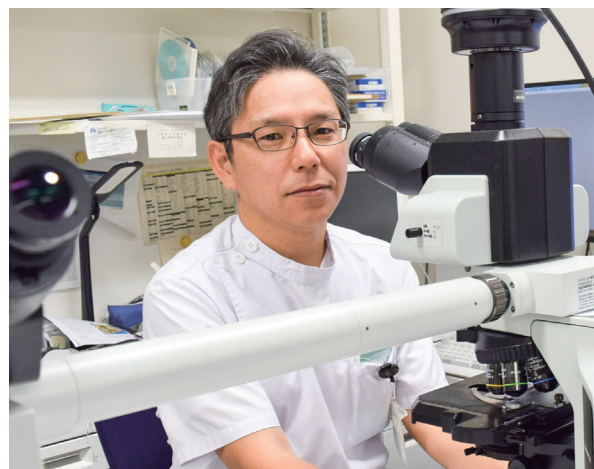
ゲノム医療の進歩に伴い病理組織検体（FFPE検体）

を用いたがんの遺伝子検査

が年々増加し、もはや特別な検査ではなくなってきました。良質な遺伝子を抽出するには組織採取後のホルマリンの質（10%中性緩衝ホルマリン）と時間（できるだけ速やかにホルマリンに浸け、その後はホルマリンに浸けすぎない（3日以内））が重要です。

病理検査に関してご不明な点はお気軽にご相談ください。

病理診断科部長 森 大輔



産婦人科

妊娠中の新型コロナウイルス感染症に対応しています

新型コロナウイルス感染症流行が始まって以来、佐賀の新型コロナウイルス感染妊婦の対応を行っています。当初佐賀県での対応を決める際に、新型コロナウイルス感染妊婦の受け入れに関して、当館以外に手上げた基幹病院はありませんでした。唯一、唐津赤十字病院が分娩にならない症例は引き受けてと言ってくれたことと、34週未満の分娩は当館で取り扱いできないので、それは佐賀大学が担当することになりましたが、実質、当館の孤軍奮闘で始まりました。

第6波以降は症例数が激増し、新型コロナウイルス感染妊婦の分娩が重なるような事態が生じてくると、徐々に他施設も新型コロナウイルス感染妊婦の対応方法についての検討を開始するようになってきました。自らが率先して苦勞することで初めて周囲からの協力が得られるものであると実感しました。とはいっても、新型コロナウイルス感染妊婦の分娩のほとんどは当館で対応している現状に変わりはありません。第8波の到来により、新型コロナウイルス感染症のためお産する場所が無くなったりする妊婦さんが出ないよう、佐賀県唯一の第一種感染症指定医療機関の責務として当館が踏ん張っていかねばならないと考えています。

産婦人科 産科部長 室 雅巳





周産期母子センターの紹介

激増するCOVID-19感染母児の周産期管理に対応

周産期母子センターは、2017年3月に佐賀県より『地域周産期母子医療センター』の認定を受け、佐賀県の周産期診療の中心的な役割を担ってきました。新型コロナウイルス感染拡大による里帰り出産の減少により分娩数が減少しましたが、最近では以前の状況に戻りつつあります。現在の最も重要な役割は、新型コロナウイルス感染妊婦の周産期管理です。第6波以降、感染妊婦が激増し、県内では周産期管理を担う施設が少なく、分娩は当館がほぼすべてを担っている状況です。在胎週数の非常に短い新生児の対応は困難ですが、早産・低出生体重児、新生児外科疾患の管理を中心に、新型コロナウイルス感染母児の周産期管理を行っています。

周産期母子センター
センター長
西村 真二



薬剤部 だより

薬薬連携は服薬管理の重要なツール

入退院時の服薬情報を保険薬局と共有するため情報提供書やトレーシングレポートをホームページに掲載して活用しています。更に手術等で休薬が必要な場合は入退院センターで薬剤師が保険薬局に説明書と電話で情報提供を行い入院前に薬の抜取りや指導を依頼しています。

一方病院薬剤師はお薬手帳に検査データ及び入院中の処方内容を記載し変更された薬は変更理由を情報提供し保険薬局での指導に役立ててもらっています。今後もこれらのツールを活用して情報共有し、安全な服薬管理を行っていきます。



薬剤部 薬剤部長
草葉 一友



がん化学療法服薬情報提供書（トレーシングレポート）

がん化学療法に関する服薬情報提供書です。薬局で決まった様式がなければ参考にしてください。

抗癌剤用（分子標的薬含む） (PDF: 164KB) [📄](#)

免疫チェックポイント阻害薬用（オプジーブ、キイトルーダ、テセントリク、イミフィンジ、バベンチオ、ヤーポイ） (PDF: 189KB) [📄](#)

入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書

入院前の患者の服薬状況等に関する情報提供書です。当館より情報提供の依頼があった場合に、薬局で決まった様式がなければご利用ください。

入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書 (DOCX: 28KB) [📄](#)

新任 医師の 紹介

1月1日付

医員



精神科

医員
みやかわ ゆうすけ
宮川 雄介



私たちがこだわっているケア シリーズ2. スキンケア

皮膚は人体最大の臓器といわれ、常に外界に接し、紫外線や外力、細菌などから身体を守り恒常性を維持する役割があります。そして、ホルモンやストレスによる心理面の影響により、皮膚に変化が現れることもあり、健康のバロメーターといわれています。それほど重要な皮膚の良好な生理機能を維持・向上するためのスキンケアには、洗浄、被覆、保湿、水分の除去と4つの行為が含まれています。

好生館では、たっぷりの泡や保湿剤入りの洗浄剤で愛護的に洗浄したり、皮溝に沿った保湿剤の塗布・選択、保湿剤の効果や物理的・機械的刺激を低減するために四肢の保護、皮膚の浸軟を予防するケアを実践しています。

清潔は人間の基本的欲求です。患者さんはスキンケアを行うことで爽快感を得たり、皮膚の健康を保つことができます。私たちは、五感を活かした観察や患者さんとの触れ合いの場ともなるスキンケアの時間を大切にしています。



3階西病棟におけるシャボンラッピングの実際

3階西病棟は、腎臓内科・糖尿病代謝内科・形成外科の混合病棟で、糖尿病教育入院から腎障害や循環障害などの合併症を有する患者さんが入院されます。合併症の中でも足病変は、患者さんのADLやQOL低下につながるものであり、予防的ケアや早期発見・早期治療が必要となります。当病棟では、2021年度部署目標に『フット観察・フットケアの充実』を掲げ、病棟でできる基本的なフットケア『シャボンラッピング』に取り組んできました。



フットケアの様子

実際に足の皮膚乾燥・角質がある糖尿病患者さんにシャボンラッピングを実践したところ、皮膚の状態もよくなり、患者さんから「とても気持ちがよい、すっきりした」との言葉が聞かれています。また、医師からも「足がきれいになったね」とのコメントがあり、ケアの質向上をチームで共有し実感しています。

現在、3階西病棟には日本糖尿病療養指導士3名、佐賀県糖尿病コーディネート看護師1名がいます。今後は、更に専門的なフットケアにも挑戦していこうと考えています。

災害訓練を実施しました

災害医療対策室
室長

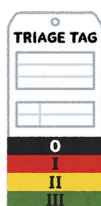
小山 敬

10月15日佐賀地方で大地震が起こり多数の傷病者が発生したとする想定のもと、当館職員と佐賀広域消防局、傷病者役の好生館看護学院生あわせて約250名が参加し好生館災害訓練を実施しました。また10月29日には佐賀県原子力防災訓練の一環として当館において「被ばく傷病者受け入れ訓練」を実施しました。

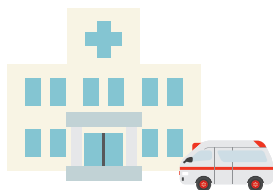
当館では基幹災害拠点病院及び原子力災害拠点病院として、自然災害や大事故発生時に適切な災害医療が提供できるよう、今後も訓練や研修を行い、県民の期待に応える備えを行ってまいります。



好生館災害訓練
ー緊迫する災害対策本部ー



原子力災害訓練
ー放射線防護衣を着用した訓練ー



病理解剖体慰霊式が行われました

病理診断科
部長

森 大輔

病理解剖にご協力いただいた方々を対象に慰霊式を12月2日に執り行いました。

病理解剖は全国的に年々減少しており、当館でも10年前の約1/3に減少しています（昨年度は13件でした）。その原因としては死後の画像診断（Ai-CTなど）の普及とコロナ禍で面会制限による医療者と患者家族との関係の構築の難しさが挙げられています。病理解剖は死因の究明や生前の診断や治療の確認に不可欠で、更にご遺族のグリーフケアにも繋がります。館外からの病理解剖も引き受けていますのでご連絡ください。

詳細は好生館ホームページ
病理診断科の「診療内容」を
ご覧ください。

HP



好生館シンポジウムを開催します

このたび、「COVID-19と共存した平時の医療提供体制へ」をテーマにシンポジウムを開催することとなりました。皆様のご参加をお待ちしています。

●開催日時

令和5年2月10日（金）19:00～21:00

●会場

佐賀市医師会館 3階講堂
（佐賀県佐賀市水ヶ江一丁目12番11号）

●対象者

医療従事者及び関係者

●申し込み方法

お申し込みは、FAX又は電子メールで受け付けています。
詳しくは下記までご連絡ください。

●お問い合わせ先

佐賀県医療センター好生館 好生館シンポジウム事務局
TEL: 0952-28-1195（平日8:30～17:00）
FAX: 0952-29-9390
E-mail: koseikan-sympo@koseikan.jp

●演題／講師

「医療制度改革と

医療機関経営」

九州大学
名誉教授 尾形 裕也 先生



「COVID-19と共存した

医療提供体制へ」

公益社団法人日本医師会
常任理事 釜薙 敏 先生



※今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況によってはオンライン開催へ変更となる可能性があります。
その場合は、お申込時に記載いただいたメールアドレスへご連絡いたします。

共同利用病床 登録医療機関のご紹介

Vol.17

医療法人 大和正信会 ふじおか病院

やま と せい しん かい



- 〒840-0201
佐賀県佐賀市大和町尼寺2685
- TEL 0952-62-2200
- 診療科：内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科
- 開 業：昭和54年11月4日
- 院 長：岩根 紳治



【アピールポイント】

私は佐賀大学医学部附属病院卒業後、内科医師として研鑽を積み、肝臓専門医となりました。その後、大学や唐津赤十字病院などでの臨床を経て、佐賀大学医学部附属病院肝疾患センターに所属して行政による肝炎医療対策の取り組みに携わってきました。2019年4月よりふじおか病院院長になり、現在かかりつけ医としての役割を全うできる様に、日々診療にあたっています。

ふじおか病院は地域包括ケア病棟と療養病棟を有し、関連施設として、介護老人保健施設・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅があります。また、有料老人ホームとも提携しており、訪問診療も行っております。患者様の自宅復帰や各施設への退院などをトータルにマネジメントしております。患者様、ご家族のニーズに合わせて、相談員を始め職員一同が親身に相談に乗りますので、お気軽にお声掛けいただきますと幸いです。

【モットー】

大和町を中心とした地域の方々やふじおか病院に受診される患者様、他の医療施設・医療機関を含めた、ふじおか病院に関連する方々に信頼され、選ばれる病院を目指しております。

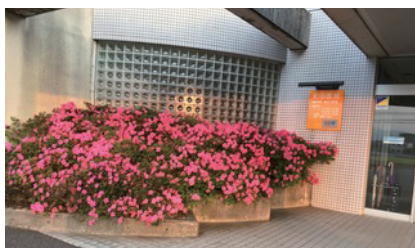
【院長先生から一言】

好生館の皆様には普段から患者さんをお引き受け頂き、大変お世話になり、感謝申し上げます。ふじおか病院が地域に根差した信頼のあるかかりつけ病院になる様に、職員一同努力していきますので、今後ともよろしくお願い致します。

和田医院



- 〒842-0067
佐賀県神埼市千代田町嘉納 1319-18
- TEL 0952-44-2046
- 診療科：内科、小児科
- 開 業：今年亡くなった母が、好生館内科勤務中に、開業していた父が亡くなり、母が後を継ぎました。私は平成14年に母と一緒に勤務し、母の引退後に引き継いで今に至ります。
- 院 長：和田 郁子



【アピールポイント】

当たり前ですが、母の代からの患者さんを引き継ぎ継続して見てきました。そのご家族も。地域密着です。

【モットー】

地域の方々が、受診しやすい診療所。

【趣味、休日の過ごし方】

花の時期はプランターにパンジー、サルビアなど植えています。

【医師を目指した理由】

祖父の代からの開業医で、私が長女だったので、継ぐことになりました。

【院長先生から一言】

好生館には大変お世話になり感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。



事務部：計画推進室だより

好生館増築等計画

計画推進室
室長
佐藤 隆一



「計画推進室」では、好生館の増築工事及び既存棟の改修工事を計画しており、来年度の着工予定で令和8年度の竣工を目指しています。

計画では、高度急性期・救急医療機能の充実、災害時医療機能の充実や施設の狭隘化解消など、好生館が担うべき役割・機能の充実・強化を図ることとしており、患者さんやご家族、来館者や地域の皆様にとってよりよい病院となるよう事業を進めてまいります。

工事に際しては、ご不便をおかけすることになりますが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

外 来 医 師 一 覧 表

(2023年1月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171（おかけ間違いのないようお気をつけ下さい）
診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。（受付時間は8時30分～11時）土・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休診です。
なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分			月		火		水		木		金	
内 科	総 合 内 科		原 野 由 美		芹 沢 京 子		芹 沢 京 子		芹 沢 京 子		原 野 由 美	
	呼 吸 器 内 科	新 患	担 当 医		担 当 医		休 診		担 当 医		担 当 医	
		再 来	久 保 田 未 央		貞 松 宏 典/村 田 大 樹		岩 永 健 太 郎/梅 口 仁 美		梅 口 仁 美		岩 永 健 太 郎/久 保 田 未 央	
	肝 胆 脾 内 科		中 下 俊 哉/野 下 祥 太 郎		古 賀 風 太		大 座 紀 子/中 下 俊 哉		大 座 紀 子/野 下 祥 太 郎		古 賀 風 太/担 当 医	
	消 化 器 内 科	新 患	中 西 朗 朗		担 当 医/富 永 直 之		朝 長 道 人		中 山 賢 一 郎		樋 高 秀 憲	
		再 来	富 永 直 之		緒 方 伸 一		富 永 直 之		樋 高 秀 憲		中 西 朗 朗	
	ピロリ外来(完全予約制)		—		—		—		富 永 直 之 (午前)		—	
	血 液 内 科	新 患	吉 本 五 一		飯 野 忠 史		横 尾 眞 子		吉 本 五 一		大 賀 慎 太 郎	
		再 来	飯 野 忠 史 移転後フォローアップ外来(午後)		横 尾 眞 子		吉 本 五 一/飯 野 忠 史 移転後フォローアップ外来(午後)		横 尾 眞 子		吉 本 五 一	
	腎 臓 内 科		松 本 圭 一 郎		中 村 恵		水 田 将 人		松 本 圭 一 郎		中 村 恵	
	糖 尿 病 代 謝 内 科		吉 村 達		吉 村 達/江 頭 絵 里 奈		江 頭 絵 里 奈		吉 村 達/江 頭 絵 里 奈		—	
	感 染 症(予約・紹介)		福 岡 麻 美		福 岡 麻 美		福 岡 麻 美		福 岡 麻 美		福 岡 麻 美	
	膠 原 病・ リウマチ内科	午前(新患・再来)	—		堺 眞 梨 子		—		白 瀧 裕 梨		—	
		午後(再来)	—		—		—		丸 山 曉 人		白 瀧 裕 梨	
消化管内視鏡(責任者)			緒 方 伸 一		中 下 俊 哉		緒 方 伸 一		富 永 直 之		緒 方 伸 一	
腹 部 エ コ ー			大 座 紀 子 古 賀 風 太		*大座 紀 子 *野下 祥 太 郎 (*隔週で交代)		古 賀 風 太 野 下 祥 太 郎		中 下 俊 哉		大 座 紀 子 野 下 祥 太 郎	
透 析			中 村 恵		松 本 圭 一 郎		中 村 恵/松 本 圭 一 郎		中 村 恵		松 本 圭 一 郎	
腫瘍内科 (臨床腫瘍科)	午 前 (再来)		—		—		—		—		—	
	午 後 (新患)		柏 田 知 美		柏 田 知 美		柏 田 知 美		柏 田 知 美		柏 田 知 美	
小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)		担 当 医		担 当 医		担 当 医		担 当 医		担 当 医	
	—		—		循 環 器 外 来		循 環 器 外 来 神 経 外 来		神 経 外 来		血液外来(第1) アレルギー外来	
	午 後 (完 全 予 約 制)		乳 児 健 診 予 防 接 種		神 経 外 来(第2) 予 防 接 種 循 環 器 外 来		循 環 器 外 来 内 分 泌 外 来 (第4) 予 防 接 種		1ヶ月健診/腎臓外来(第1・3) 神 経 外 来 アレルギー外来(第2・4・5)		血液外来(第1) アレルギー外来	
循 環 器 内 科	午 前		挽 地 裕 神 下 耕 平		吉 田 敬 規 中 村 郁 子		挽 地 裕 井 上 洋 平		中 村 郁 子 井 上 洋 平		神 下 耕 平 吉 田 敬 規	
	ペースメーカー外来(午前・完全予約制)		—		—		担 当 医		—		—	
	不整脈外来(午後・完全予約制)		—		高 橋 佑 弥		—		新 里 広 大		—	
	午 後		検 査		心 カ テ		心 カ テ		心 カ テ		心 カ テ	
精 神 科	—		—		—		—		—		—	
放射線科	放 射 線 診 断 ・ I V R		相 部 仁/安 座 間 真 也 森 田 孝 一 郎/前 村 大 将 岸 川 浩 尚 他		相 部 仁/安 座 間 真 也 森 田 孝 一 郎/前 村 大 将 岸 川 浩 尚 他		相 部 仁/安 座 間 真 也 森 田 孝 一 郎/前 村 大 将 岸 川 浩 尚 他		相 部 仁/安 座 間 真 也 森 田 孝 一 郎/前 村 大 将 岸 川 浩 尚 他		相 部 仁/安 座 間 真 也 森 田 孝 一 郎/前 村 大 将 岸 川 浩 尚 他	
	放 射 線 治 療		鳥 羽 隆 史		鳥 羽 隆 史 (再来のみ)		鳥 羽 隆 史		鳥 羽 隆 史		鳥 羽 隆 史	
脳 神 経 内 科	午 前		新患・再来		高 島 洋		高 島 洋		吉 川 正 章		吉 川 正 章	
	午 後 専門外来 (完全予約制)	もの忘れ外来	—		—		高 島 洋		—		—	
		パーキンソン病外来	—		—		—		高 島 洋		—	
緩 和 ケ ア 科	午 前(再 診)		—		小 杉 寿 文/久 保 麻 悠 子		—		小 杉 寿 文/久 保 麻 悠 子		—	
	午 後(新患)		—		弓 場 智 子		—		弓 場 智 子		—	
がん看護外来			月～金 がんに関する相談に、認定看護師が対応します									
外 科	消 化 器 外 科	新 患	梶 原 脩 平		北 川 浩		古 賀 靖 大		池 田 貯		三 宅 修 輔	
		再 来	古 賀 靖 大		三 宅 修 輔		池 田 貯/北 川 浩		梶 原 脩 平		田 中 聡 也/佐 藤 清 治	
	肝 胆 脾 外 科	新 患	三 好 篤		北 原 賢 二		三 好 篤		古 賀 浩 木		江 川 紀 幸	
		江 川 紀 幸(北 原 賢 二)										
	乳 腺 外 科		—		手 術		白 羽 根 健 吾/大 河 原 一 真		手 術		白 羽 根 健 吾/大 河 原 一 真	
	呼 吸 器 外 科	新 患	手 術		担 当 医		手 術		担 当 医		手 術	
		再 来										
小 児 外 科	新 患	山 内 健		手 術		中 林 和 庸		田 口 匠 平		手 術		
	再 来	中 林 和 庸/田 口 匠 平										
眼 科	午 前		手 術		佐 々 由 季 生		手 術		佐 々 由 季 生		佐 々 由 季 生	
	午 後		検 査		山 下 翔 太/田 島 旭		検 査		山 下 翔 太/田 島 旭		山 下 翔 太/田 島 旭	
産 婦 人 科	午 前	婦 人 科	金 井 督 之/八 並 直 子		安 永 牧 生/吉 武 薫 子		手 術 日 (急患のみ担当者)		安 永 牧 生/神 下 優		手 術 日 (急患のみ担当者)	
		産 科	室 雅 巳/吉 武 薫 子		室 雅 巳/神 下 優							
	午 後	婦人科(予約)	手術日(急患のみ担当者)		金 井 督 之				八 並 直 子			
		産 科(紹介)	吉 武 薫 子		室 雅 巳				室 雅 巳			
助産師外来			助産師		助産師		—		助産師		—	
耳 鼻 いんこう科	午 前		手 術		宮 崎 純 二/嶋 崎 絵 里 子 陣 野 智 昭		手 術		宮 崎 純 二/嶋 崎 絵 里 子 陣 野 智 昭		宮 崎 純 二/嶋 崎 絵 里 子 陣 野 智 昭	
	午 後				回 診・検 査				回 診・検 査		回 診・検 査	
泌尿器科	午 前		諸 隈 太/佐 藤 暢 晃 井 上 裕 之/三 浦 章 成		諸 隈 太/佐 藤 暢 晃 井 上 裕 之/三 浦 章 成		手 術		諸 隈 太/佐 藤 暢 晃 井 上 裕 之/三 浦 章 成		手 術	
	武 富 映 典		武 富 映 典		武 富 映 典							
専 門 外 来			腎 移 植		腎 移 植		—		腎 移 植		—	
歯 科/口 腔 外 科	午前・午後	完全予約制	野 口 信 宏 松 尾 悠 未		野 口 信 宏 松 尾 悠 未		野 口 信 宏 松 尾 悠 未		野 口 信 宏 松 尾 悠 未		野 口 信 宏 松 尾 悠 未	
形 成 外 科	午 前		原 田 慶 美/林 田 怜 子		手 術		回 診		手 術		原 田 慶 美/林 田 怜 子	
	午 後		外 来 手 術				フットケア外来				外 来 手 術	
皮 膚 科	午 前(新患)		入院手術		永 瀬 浩 太 郎		永 瀬 浩 太 郎(皮膚腫瘍外来)		橋 本 真 央		外 来 手 術	
	午 前(再来)				永 瀬 浩 太 郎/橋 本 真 央		永 瀬 浩 太 郎/橋 本 真 央					
整 形 外 科	一 般 整 形		塚 本 伸 章/松 下 平 林 健 一		手 術		前 隆 男/小 宮 紀 宏 松 下 優		手 術		塚 本 伸 章/小 宮 紀 宏 平 林 健 一	
	骨粗しょう症外来紹介(完全予約制)		—		—		前 隆 男		—		平 林 健 一	
	脊 椎		林 田 光 正/眞 島 新		手 術		林 田 光 正/馬 場 覚		手 術		馬 場 覚	
脳 神 経 外 科	午 前		松 本 健 一/井 戸 啓 介		手 術		井 戸 啓 介/横 溝 明 史		手 術		松 本 健 一/横 溝 明 史	
心 臓 血 管 外 科	午 前		手 術		内 藤 光 三 里 学		手 術		川 崎 裕 満 里 学		手 術	
	午 後				回 診				回 診			
人 間 ド ッ ク	— 般		緒 方 彩 子		井 之 口 香 映 子		井 之 口 香 映 子(第2・3) 担当医(第1・4・5)		松 石 英 城		担 当 医	
	脳ドック		高 島 洋		松 本 健 一		松 本 健 一		高 島 洋		高 島 洋	
	心臓ドック		—		—		—		担 当 医		—	
看護専門外来	ス ト ー マ ・ 床 す れ ・ 失 禁 (完 全 予 約 制)		江 口 忍		江 口 忍		江 口 忍		江 口 忍		江 口 忍	